

第 267 回東京支部技術フォーラムのご案内

この度、第 267 回東京支部技術フォーラム（医療情報研究班企画）を下記の通り開催させていただくこととなりました。

2019 年 3 月の医療法改正に基づき、2020 年 4 月より、診療放射線に関わる装置を備えている全ての医療機関は、①管理責任者を定め、②安全利用の「指針」を策定し、③研修の実施及び、④被ばく線量の管理及び記録とその他の安全利用を目的とした改善のための方策を講じることが義務付けられました。この中でも④の記録に関わる項目では、日常の検査ごとに発生する線量情報を効率的に記録し、有効に利用できる形で蓄積する線量管理・記録システムの構築が重要になります。今回の技術フォーラムは法改正実施前夜となる 2018 年 6 月に実施した技術フォーラムの後を受け 2019 年に開催する予定でしたが、社会的情勢に延期を余儀なくされ、ようやく開催の運びとなりました。すでに 2 年が経過し、それぞれのご施設で実施されていることと思われませんが、将来に向けて様々な問題を抱えていることと想像します。現状を共有し、被ばく線量記録システムの構築に向けたヒントとなるような企画としました。

診療放射線技師として、誰もが係わりを持つことです。皆様の参加をお待ちしています。

日 時 : 2022 年 11 月 11 日 (金) 19:00~20:50 (18:00 受付開始)

開催形態 : Zoom によるオンライン開催 (事前参加登録者に URL とパスワードを配信します)

募集人数 : 50 名 (東京支部会員優先、定員になり次第締切ります。)

参加費 : 会員 1,000 円、非会員 2,000 円、学生会員無料、学生非会員 500 円

プログラム : テーマ「放射線被ばく線量の記録システムについてー線量記録の義務化その後ー」

1. 放射線被ばく線量管理システムの紹介

(株) A-Line

北中 康友

2. 放射線被ばく線量記録の現状 (ユーザー報告)

戸田中央総合病院

大川 健一

東京慈恵会医科大学附属第三病院

富樫 敦史

3. 放射線被ばく線量記録のシステム化に役立つ知識

順天堂大学医学部附属順天堂医院

木暮 陽介

申込期間 : 2022 年 10 月 10 日 (月) ~ 11 月 7 日 (月)

申込方法 : 会員システム「RacNe (ラクネ)」<https://service.jsrt.or.jp/> にログインしてお申し込みください。

案内等の連絡は研究班から行いますので、締切日以降はメールチェックをお願いします。

申込多数の場合、東京支部会員を優先しますのでご了承ください。

災害等の不測の事態における開催の可否に関しては HP をご確認ください。

尚、キャンセルされた場合、返金できないことご了承ください。

URL : 東京支部ホームページ <http://jsrt.tokyo/>

問合せ先 : 公益社団法人 日本放射線技術学会 東京支部 医療情報研究班

E-mail jsrt.tokyo.joho@gmail.com

担当 医療情報研究班